

第 47 回 定例情報交換会御質問事項への回答

1. スクリーニング調査（海外）

1. 1. OIG-22-A-06（2022-02-09）「偽造不正疑惑品（CFSI）に対する NRC 監督の OIG 監査」

国内の偽造不正疑惑品（CFSI）に対する JANSI の取り組みは。

- A. 原子力施設に使用する（又は、使用されている）製品（汎用品を含む）に、模造品又は偽造品が発見された場合、ニューシアへ登録し共有する運用としている。

また、JANSI は事業者と調達管理に関する議論を行い、JEAG4121-2015（2. 10. 11 模造品、偽造品への対応）を遵守していくことを確認している。

なお、JEAG4121-2015 に記載の内容は、JEAC4111-2021（適用ガイド）に引き継がれており、事業者はこれに基づいて活動していると認識している。

1. 2. IRS9051

□の PWR プラントにおいて、CRDM サーマルスリーブの交換が行われた。海外製造事業者は、交換用サーマルスリーブを開発している。国内 PWR のサーマルスリーブでは、この問題はないとされているが状況に変わりはないか。

- A. 国内 PWR のサーマルスリーブでは、この問題はないとされている状況に変わりはない。

2. スクリーニング調査（国内）

2. 1. 13533M「火災感知器の不適切な設置」、13624M「海水管トンネル内スプリンクラー設備の火災感知装置である感知器の不適切な箇所への設置」

国内プラントにおいて、火災感知器の不適切な設置が少なからず見つかっている。火災感知器に対する JANSI の取り組みは。

- A. JANSI においては、不適切な箇所への火災感知器の設置について、他の不適合事象と同様にニューシア等で情報共有を実施しており、水平展開の検討の推奨、教訓の提供を実施することで再発防止に努めている。

事業者においては、火災感知器の設置について、炉規法で要求される感知器についても、消防法施行規則に適合するよう是正するとともに、改めて関係者にその旨を周知すると聞いており、対策が適切に実施されていると認識している。

※枠内は国際機関との取り決めにより公開できません。

2.2. 13611T「出力領域中性子束急減による原子炉自動停止」

本件につき、被規制者向け情報通知文書「ケーブル接続部への荷重の負荷による導通不良」が発出された（2023年05月24日）。本件に対するJANSIの取り組みは。

- A. JANSIにおいては、本件について、他の不適合事象と同様にニューシア等で情報共有を実施しており、水平展開の検討の推奨、教訓の提供を実施することで再発防止に努めている。

なお、OEに関する「被規制者向け情報通知文書」については、上記の通りJANSIのOE業務の中で取り扱うこととしている。

2.3. 使用済燃料ピット監視カメラ不動作による運転上の制限の逸脱

7月26日に題記の連絡を受けた。使用済燃料ピット監視カメラの不良は、これまでに4件がNUCIAに登録されている。第45回JANSI定例情報交換会（R4.10.31）にて、それら4件の不良に対するJANSI見解を得ているが、変わりはないか。

- ・ 13184M「高浜発電所4号 使用済燃料ピットエリア監視カメラの不調に伴う運転上の制限の逸脱」
- ・ 13218M「美浜発電所3号 使用済燃料ピットエリア監視カメラの不調に伴う運転上の制限の逸脱」
- ・ 13465M「伊方発電所3号機 使用済燃料ピット監視カメラの不具合」
- ・ 13508M「高浜発電所3号機 使用済燃料ピットエリア監視カメラの動作不能に伴う運転上の制限の逸脱」

- A. 第45回JANSI定例情報交換会（R4.10.31）で回答したJANSI見解に変わりはない。

（以下、第45回JANSI定例情報交換会での回答）

使用済燃料ピットエリア監視カメラの不具合事象については、その原因がカメラ本体の異常や構成機器の一時的な不調である事象を完全に防止することは困難であり、また、それらの事象については消耗品取替等の軽微な修理で復旧可能である。このため、原因が不明確で具体的対策ができない（または不要な）事象として整理し、水平展開の検討不要としている。

また、サーバーの過負荷で発生したような不具合であれば、当該設備・機器または類似する設備・機器を他プラントで有する可能性があるため、水平展開の検討要としている。

以 上